

【解説】 インディゴ、クリスタル、レインボウ（チルドレン）と呼ばれ、この順に進化しているとされる、いわば新人種が、ここ数十年の間に世界の各地に生まれてきていると言われる。これに関する情報は多いが——ウィルコックの報告している、チベットとインドの18万のRainbow Bodyもその一つ——いくつかの英語ネット文献からこれを選んで訳してみた。クリスタル・チルドレンとレインボウ・チルドレンについては、別ファイルでこの続編を紹介する。

これについても、頭から嗤って退ける「科学者」は多いであろう。しかし我々は、おそらく一人残らず心の底で、人類がこのように生まれ変わることを願っているはずである。この願望をすら嗤う者はいない。そして、もし——もしその強い願望が、現実の「進化」として実現しつつあるのだとしたら、これ以上に圧倒的な、感動と畏怖を呼び起こす出来事はないであろう。

## インディゴ・チルドレンとその見分け方

(The Indigo Child and How to Recognize One)

By Sandra Musser

インディゴ・チャイルドは、我々を真の我々に近づけるために生まれてきている。我々は肉体が別々なのだから、心も別々なのだと思っている。これらの子供たちは違った認識をもつ。真のインディゴは、通常は夜、彼らが眠っていると人が思っているときに、違った世界の間を気持ちよく行き来している。

我々の思考と感情は自分自身のものではない。本当のところは、我々は、自分が誰であるか、いかに我々の心がお互い同士つながっているかを、忘れていたのである。インディゴ・チルドレンはこれを覚えており、我々の心霊的能力をはるかに超えた内なる知識をもっている。

ところで、1980年あたり以後に生まれたすべての子供が、インディゴだというわけではない。彼らの多くは、彼らがまだ縁を切っていない前世からの大きな問題を持ってくる。しかし一旦、教訓が学ばれ、その関係（因縁）が許されると、彼らは宇宙的な関心をもつインディゴの階級に加わることになる。

我々のDNAの複雑な、内なる働きが変わりつつある。…我々のDNA内部の電磁場である脳波の諸関係が、より高い振動的パターン構成へと自動的に動きつつある。これによって我々の脳は、意識のまとまった単位として、一緒になって動きつつある。

このことは、人類がますます高い知覚と感受力をもった存在、いつでも同時に、すべてを知覚できる存在になりつつあることを意味する。——Meg Blackburn Losey, “Conversation with the Children of Now”

## どうして我々は内なる知識との接触を失ったのか？

簡単に言えば、我々は何千年も前に、「感ずる」のでなく「考える」ようになったのである。集合意識の中に入り込む能力は、まだ我々の内部にある。どうしたらよいかを忘れてしまったのだ。エゴ（自我）が我々の支配者になり、決断するのに記憶に頼ることによって、我々を拘束するようになったのである。過去を自分の案内役にするにより、またエゴに権力を与えることによって、我々は怖がる者になってしまった。我々は、自分のより低い性情から生きるようになったのである。理知が、我々に集合意識との接触を失わせ、孤独を感じるようにさせた。

大人たちの中には、このかつての知識の少なくとも一部を、取り戻すことができている者がいる。そういう人たちが、集合意識の働き方を覚えていて、それを使う子供たちを産んでいる。インディゴは彼らの子孫なのだ。

我々の本の結論は、今日の子供たちは違っているということ——かつて我々の見たどんな世代より、チャレンジ精神がより旺盛、より聡明、より物おじせず、より直観的、より霊的、そしてある場合には、より乱暴だということである。これは、親の育て方や学校教育に、これまでとは違った、新しい方法が要求されることを意味する。——Doreen Virtue, “The Care and Feeding of Your Indigo Children”

## 「インディゴ（藍色の）子供」という呼び方の由来

教師でカウンセラーの Nancy Ann Tappe は、人間の電磁場とも呼ばれる、オーラ場（auric field）の研究をしていた。この「場」はすべての生き物の周りにある。彼女は『色によってあなたの人生を理解する』（*Understanding Your Life Through Color*）という本さえ書いている。

オーラの色を通じて、彼女は、新しい方法を使った、人の心理学的な特徴を明らかにする、おそるべく正確なやり方を編み出した。インディゴ・チルドレンの兆候は、数は少ないが、すでに 1950 年代から出始めていた。彼女が気付いたことは、1980 年以後に生まれた子供の 80% が、ある新しい深い青色のオーラ場をもっていることだった。彼女はこの新しい色を「インディゴ」（藍）と呼んだ。

## インディゴ・チルドレンの振舞いのパターン

1. 彼らは自分が特別であり、尊敬されるべき者であることを、生まれながらに感じ、知っている。
2. インディゴ・チャイルドは、自分はここにいるべくしているのだと自覚し、人にもそれを理解するよう期待する。
3. これらの子供は、普通の子より自信があり、より高い自尊心を持っている。
4. 選択、交渉、自分からの提案といった余地のない絶対的権威には、違和感をもつ。教育制度がそのよい例である。
5. 我々が子供時代に、大いに注意して守ったルールのいくつかは、彼らには馬鹿げて見え、それには抗う。
6. 硬直した儀式的な習慣は、インディゴ・チャイルドには古臭く感じられる。彼らは、すべてが創造的に考えられるべきだと感ずる。
7. 彼らは洞察力があり、しばしば、昔からそこにあったものより、よいアイデアをもつ。そのため彼らは「システム破壊者」のように見られる。
8. 大人はよく、インディゴ・チャイルドは、他のインディゴと一緒にいないと反社会的になるのだと考える。彼らはしばしば、孤独と他者からの誤解を感じ、それが彼らを引きこもらせる。
9. 「お父さんが帰ってくるまで待ちなさい」というような、古い躰の方法は、これらの子供には効果がない。
10. 彼らの個人的要求を満たすことは、彼らにとって重要であり、彼らはそれをあなたに分かせようとする。

### あなた、またはあなたの子供たちはインディゴか？

先に引用した『あなたのインディゴ・チルドレンの世話と食事』には、彼らの特徴が列挙

してある――

- \*意志（我）が強い
- \*1978年かそれ以後に生まれた
- \*強情（わがまま）
- \*創造的で音楽、宝石細工、詩などの才能をもつ
- \*麻薬などに走りやすい
- \*13歳にして43歳のような“old soul”（大人びている）
- \*直観的あるいは心霊的で、多分、天使や死者を見た経験をもつ
- \*孤立主義的――攻撃的な自己主張か、か弱い内向性によって
- \*独立心強く、誇り高い（傲慢）――たとえ常にお金をせびっていても
- \*大きく世界に役立つとする深い欲求をもつ
- \*低い自己評価と尊大さの間を揺れ動く
- \*ものにすぐ飽きる
- \*多分、ADD（注意欠陥障害）またはADHD（多動性障害）と診断されたことがある
- \*不眠、不安睡眠、悪夢、または眠りにつくことの困難/恐怖の傾向
- \*鬱、または自殺を考えたり試みたことさえある
- \*本物の、深い、永続的な友情を求める
- \*植物や動物とたやすく仲良しになる

もしあなたが、これらの特質の14かそれ以上に当てはまれば、あなたはindigo childである。11から13なら、あなたはおそらくトレーニング中のインディゴだ。もしあなたがこれらの特質をもつ成人なら、あなたは“ライトワーカー”の素質をもっている。

### **リタリン(精神刺激薬) や他の薬品の、インディゴ・チャイルドへの効果は ADDまたはADHDと診断されること**

リタリンや他の向精神性薬物を与えられたインディゴ・チルドレンは、やがて、彼らの直観、心霊能力、戦士の性格との接触を失う。これらの子供は、まさにこの3つの精神的（霊的）能力をもって、この惑星を環境的・社会的に清浄化するという、特別の目的を与えられて地上へ送られてきたのである。――“Care and Feeding of Your Indigo Children”

リタリンのような抑制剤は、インディゴ・チャイルドに人生の目的を見失わせ、我々が地上で生き続けるために、そこで起こらねばならないことを、遅延させるだけである。

インディゴ・チャイルドに睡眠困難の症状が見られる理由の一つは、気まぐれな霊が彼らに引き寄せられるからである。これらの霊は、このような子供が、彼らを見て感知することができるを知っている。インディゴ・チルドレンが睡眠のトラブルをもつことは多く、そのため彼らは学校で、ますますイライラし、落ち着きを失くする。学校や医者はこちらから、彼らがADHDかADDだと決めつける。

### インディゴ・チルドレンの理想的世界とはどのようなものなのか？

インディゴ・チルドレンは、この惑星上で果たすべき仕事をもっており、またその意志がある。彼らの仕事は、現在の世界的時代の価値を消滅させ、来たるべき世界的時代の価値に置き替わるようにすることである。そして彼らはその仕事を、非常に真剣に受け止めている。彼らは世界に、「愛ときょうだいの絆と一体性」という、新しい価値を受け入れさせようと準備している。インディゴに関する予言（リンク）は、これら特別の子供たちは、2012年あたりの次の「大サイクル」への転換のために、世界を劇的に変える先駆者となると言っている。他者に対する許しが、この地球を癒すために働く鍵的な要素となる。インディゴの世界は次のようなものであろう――

1. すべての強い化学薬物からの解放。
2. 食物は有機栽培となり、地方栽培の、最低限の加工と精製による新鮮なものとなる。
3. 教育は万人を対象とし、子供たちは彼らの教育の未来とカリキュラムについて、より大きな発言力をもつ。
4. 家族とは、そのときあなたが誰と一緒にいたかを意味し、より大きな人々の輪を含むことになる。
5. 我々の政治システムは、真に、万人のより大きな善を目指し、より民主的で社会主義的にすらなるだろう。
6. すべての国とすべての人々は、惑星全体の生命を改良するために、協力して働くだろう。
7. 自然と自然の必要とするものが、きれいな空気と土壌を含めて、優先される。

8. 子供たちは敬意をもって扱われ、彼らに影響を与えるどんな決定についても相談を受ける。

9. すべての人々は、その人種、色、性別、信条などに関わりなく、平等となる。

我々は彼らを引きずり、罰し、否定してきた。しかしそれでも彼らは、模範的な子供がどうあるべきかの「我々の」考え方に、従おうとしない。なぜか？ それは、多くのインディゴ・チルドレンが、自分たちの未来を見ることができ、我々が彼らに教えようとしていることは、無益で無意味だと知っているからである。

インディゴ・チャイルドは、おそろべき粘り強さと意志の力をもっている。化学薬物や加工食品や権威に対する彼らの敏感さを通じて、彼らは、我々の世界で何が変わらなければならないかを、我々に示しているのだ。彼らは非常に多くの物事に敏感である。インディゴ・チャイルドは、もし我々が本当にこの地球と同胞を愛しているなら、こうした害となる化学薬物は使うべきではないと、言おうとしている。

インディゴ・チルドレンは“不自然な世界の中の自然な子供”である。…彼らの免疫システム（肉体的かつ情緒的な）は、食物、水、空気、化粧品、洗浄剤、人工照明などに含まれる、この地上世界の有毒物を、同化吸収することができない。科学者たちは、ADHDと環境有毒物の間の、おそろべく大きな繋がりを見出している。——  
“Care and Feeding of Your Indigo Children”

### それぞれの世代があるグループ目的や意識をもっていて、それが特定の価値をもつ特定の色に関係しているらしい

1940年代と1950年代——この期間の人々は安全の問題を抱えていた。彼らは若くして結婚し、生涯、彼らの職を離れなかった。結婚や職における幸福は、安全に比べ二の次だった。その色は赤で、「ルート・チャクラ」——赤い最もゆっくり動く光線に属している。

1960年と1970年代——安全についてはそれほど心配しない。ドラッグ、セックス、激しい音楽への、より大きな興味が始まった。自由恋愛、フェミニスト運動、少数者と男女両性の平等運動が、真剣に始まった。オレンジ色が「仙骨チャクラ」と関連する色——オレンジは、よりゆっくりしているが、最もゆっくり動く光線ではない。

1980年代——この時代は、人々が個人的な資産と力を獲得し、負債が増えていくとともに、

事態の深刻さが増した。労働力の男性支配の領域で、女性が大きな利益を得たが、女性らしさを犠牲にした。彼らはより多くの男性的特徴を身に付けた。この時代に結び付く色は黄色であり、これは「太陽叢チャクラ」を意味する。このチャクラの回転スピードは、この色が熱から冷へ変わるにつれて増加する。

1990年代初期——「大サイクル」の転換期が近づくにつれて、時間の間隔がより近くなる。なぜなら意識革命が進んだからである。この時代には、人々が教会や寺院や非宗教的スピリチュアル・グループに参加するとともに、霊的(精神的)革命が進んだ。法王が教会の過去の過ちの謝罪をした。これはすべて、来るべき新しい至福千年のためである。エメラルド・グリーンがこの時期と関連する色で、チャクラは「ハート・チャクラ」——このチャクラのスピードは、前のチャクラの2倍になる。

1990年代後期——これは個人の時代だった。人々は株を弄んだり、事業やその類のものを開くことによって、独立する努力をした。会社の縮小化がこの傾向を助けた。これらの人々は職場を去り、結婚でも何でも、健全でないと思われるものを捨てた。彼らの情熱が最優先された。自分自身への誠実さが最も重要だった。真理と誠実さへのこれらの変化は、「喉のチャクラ」の仕事である。なぜならそれらは意思伝達に関わるから。このチャクラは、明るいスカイブルー色で回転しており、さらにスピードがある。

2000年代と新しい至福千年——スピリチュアル革命が、心霊現象、地縛霊、死後の生、天使などへの興味の増加とともに、大きな活動に入った。心霊現象への興味は、「第3の眼チャクラ」とともに音を立てて明瞭に見えてくる。このチャクラは、3つの色——白、紫、そして主としてインディゴ(藍)——で回転する。

ここに属する子供たちは高度に心霊的で、霊的才能をもっている。彼らは右脳支配型で、考えるより感ずる。他の特質は芸術的才能であり、音楽的・数学的思考に長け、聴覚でなく視覚を通じて学ぶ。多くは情緒的な能力をもち、他の子供を、判断するのではなく心を開いて助けようとする。

インディゴ・チャイルドは、他者に対して敏感だが、それは多くの場合、人の感じていることが彼らにはわかるからである。このような子供に対しては、嘘をつかないのが賢明である。なぜなら、彼らは直観によって嘘を見破ることができるから。正直ということがなければ、インディゴ・チャイルドに対しては、すべてが無効である。彼らはあらゆる場合に、それをあなたに求める。だから、インディゴ・チャイルドが成長して、彼らの人生の目的に向かって行動しやすくするために、正直と誠実を我々の子供に教え込まなければならない。

これらの子供は、我々の子供の時とは非常に異なっている。彼らのIQを合わせると、歴史上のどんな時よりも高い値を示す。しかし彼らは、言葉を使わない知性において高得点を示すのであって、言葉を使うスキルにおいては点は低い。彼らにとっては、彼らの行っているテレパシーの旅行が本当の学校になる——それは夜の学校だ。彼らの多くが翌日疲れているのはそのために、彼らは眠っていないのである。昼間に人間の学校で習うことは、退屈で時代遅れなのだ。彼らは「夜学」で勉強するが、たいていそれを密かに行っている。

## **インディゴ・チルドレンの地球規模の目的は、平和の新時代、水瓶座時代を迎え入れること**

インディゴ・チルドレンは、他者を助けたいという思いを自然にもっている。彼らは、他者を助けることで、大きな変化が地上に起こることを知っている。真のインディゴ・チャイルドは、公平、個人性、友愛の価値を、心の底で大切にしている。医者や教師の話では、インディゴ・チルドレンは、天使、オーラ、妖精、また愛する死者たちを見たと言っている。彼らは直観的に、他者の誠実さのレベルを知っており、嘘を感じ取る。最も重要なことは、これらの子供が、疑問なしに、与えられた自分の能力を知り、理解し、それに敬意を払っていることである。

我々大人は、すべてを疑うように教えられてきた。我々はあることを感ずると、しばしばその価値を低く見て、そのために結局、間違いを犯すことがある。インディゴ・チャイルドは、彼らが受ける神からのインスピレーションを疑うことはない。彼らは疑問なしに、言葉通りにそれに従う。

これらの子供が成人したとき、心霊的体験やテレパシーや天使は、日常会話の話題となるだろう。テレパシーが可能になれば、嘘をつくことはできなくなる。法律に関する職業や裁判制度などは廃止されることになる。人々は自然に正直になる——そうでなければ生きていけなくなるからだ。

### **あなたはインディゴ・チャイルドの信用を得なければならない**

インディゴ・チルドレンは、今日の法的な、政府の制度が腐敗していることを知っている。彼らは、教育制度の大々的なオーバーホールが必要なことを知っていて、彼らがそのような地位にあるときには、それを実現させようと粘り通す。我々は現在、「金と権力とコントロール」が価値をもつ「うお座時代」を脱したばかりだ。これらの価値は、2012年までに、「愛ときょうだいの絆と一体性と誠実」の価値に入れ替わるだろうと予言されていた。こ

れら諸制度のオーバーホールはすでに始まっている。そしてインディゴ・チルドレンは、我々が新しい「大サイクル」の価値を身につけるまで、この変化を推進しようとしている。

この平和の時代である「水瓶座時代」には、我々は「協力、きょうだいの絆、誠実、愛」の中に住むことになる。我々は、自然の健全な食べ物、きれいな水、それに新鮮なその土地の生産物を通じて、かつてより遥かに自然な生き方をするようになるだろう。

MLM (Multi-Level Marketing、多層価値市場) がより優勢な形となり、我々の市場経済の主たる根源となるかもしれない。

現在、生産されている必要でない“物”のすべては、もはや市場をもたなくなり、それを生産するビジネスの大規模な閉鎖をもたらすだろう。しかしそれらに代わって、別の、必要とされる有益なビジネスが起こり、それらは大部分、自分の家から操業されることになるだろう。人々は自分の人生の目的を追求し、単に“職に就く”ことはなくなる。

これら時代遅れのビジネスとともに、スモッグ、殺虫剤、食品添加物、製薬会社のドラッグ、ストレス、不安などもなくなるであろう。時計によって与えられる、不自然な時間を過ごすのを止めると同時に、我々は、生得の権利たる、自然の時間の中での生活を始めるであろう。

## 「恐怖」という古いエネルギーが、「平和」という新しいエネルギーに取って代わる

より高い次元に住む人々は、自分の必要を満たすのに、瞬時にものを出現させる。彼らが、彼らの欲求とヴィジョンをその目標に集中すると、そのものが引き寄せられるか創造される。我々の心霊的な能力が増加したために、何かを必要としたとき、我々は視覚化の力によってそれを出現させようとする。我々が望むものに対する焦点が揺れ動かないようにするためには、訓練が必要である。心に心配をもつことはネガティブな結果を生み出すから、直ちにそれは愛の思考に置き換えなければならない。

インディゴ・チャイルドは、職の安全について心を煩わせることはない。それは彼らが、真の安全の源は、神/宇宙と目的によって生きることから生ずることを、知っているからである。

## 結 論

我々のDNAそのものが変わりつつある。多くの大人の読者の方々は、我々の身体が調節しようとしているので、これらの変化の効果を感じておられるだろう。あなたは、自分の神経が少し疲れているのを感じているかもしれず、またあなたの呼吸が速くなり、はっきりした理由がないのに不安を感じているかもしれない。中には、自分のチャクラのエネルギーの回転あるいは運動を感じている人さえある。これは、銀河中心からの光線のエネルギーがまっすぐ地球に届いて、我々の内なるエネルギー・センターを刺激することによるものだ。

地球自体の磁場が、ほんの一世紀前と比べても劇的に変化している。それは、我々の存在と思考そのものを変えると約束されている、この「大きな時代」が近づくにつれて弱くなり始めた。

今日の子供たち——インディゴと、彼らより若い相似者である“クリスタル・チルドレン”（リンク）——は、すでにこのDNAの多くを身につけて生まれてきている。彼らは、我々の新しい、より軽量の身体と洗練された心霊能力の、さきがけであり新設者でもある。彼らは、その感受能力と知識と誠実さによって、我々を導くために今ここに来ているのであり、その逆ではない。大人たちは、彼らが彼ら自身であるように力を貸さなければならぬ。彼らは、マヤ歴の新しいサイクル——平和の時代、ある人々が呼ぶ「水瓶座時代」——の価値に基づく、全く新しい価値のセット全体を携えて、我々のもとにやってきたのである。これらの価値とは何であろうか？ **愛、きょうだいの絆、一体性、誠実**である。

そして今、もう一つの進化が起こり始めており、“レインボウ・チルドレン”（リンク）と呼ばれる子供たちが現れている。

（第2部につづく）